



仙高の風

令和2年8月3日発行「特別号」題字:(国語科)阿部頼人教諭

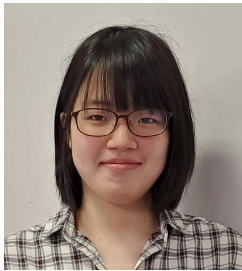
この度、『仙高の風』は、今夏、全国の舞台で活躍が期待されていた皆さんに、大会やコンクールがなくなった現実をどのように受け止め、今、どんなお気持ちなのかを寄せていただきました。県新人大会等でベスト4以上などの実績を持つ皆さんです。

運動部、文化部それぞれ順不同



美術部松崎颯香さん(3年) 私は四国で行われる美術部の全国大会に出場する予定でした。しかし今年にはコロナの影響により、web上での交流会という形になりました。高知に行き、全国の素晴らしい作品や制作者様と直接お会いすることが出来ると

期待していたため残念な気持ちです。しかし、web上では時間や周囲のことを気にせず、一つ一つの作品を鑑賞することが出来るという利点もあります。また、コメント投稿が出来るため自分の長所や反省点、見習うべきところが見えてくると思います。このような機会に参加できることはとても光栄なため他県の人との交流を深めたいです。



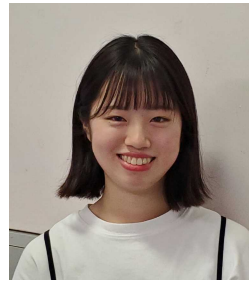
写真部小部美雨さん(3年) 今回の新型コロナウイルスの影響により、総文祭の開催が困難となってしまいました。総文祭は高校生のうちに2回だけのチャンスでした。リモートでの開催も考えられていますが、現地で全国各地の高校生達と出会い、

様々な体験をもとに学びあうことが目的なので、今回の決定には理解していても悔しい思いをしました。来年以降もどうなるのか先行きは不透明ですが、後輩達には皆で協力して頑張りたいです。



ラグビー部浅井勇暉さん(3年) 私は、今年度からラグビーの7人制高校代表として活動しています。本来今の時期は、国内で多くの遠征を行い、国外でも遠征を行っていたはずでした。正直最初は、「なんで今年に限って」という悔しさが大きかったです。

しかし、ラグビーができない状況だからこそ、自分を見つめ直すことができました。この時期に学んだことを生かし、15人制の高校代表にも選出されるよう、練習に励んでいます。大変な状況が続いていますが、ONE TEAMで乗り越えましょう！



陸上競技部高橋杏さん(3年) 7月に行われるはずだった大会が中止になりました。突然のことだったので、あまりのショックに言葉が出ませんでした。昨年の東北新人の悔しさをバネに今まで頑張ってきました。次こそ絶対に入賞して、インターハイに出場すると決めていました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で東北大会もインターハイも開催中止となりました。次々と大会が中止になり、何に向かって頑張ればいいのか分からなくなった時期もありました。それでも私は最後までやることはやりたいと思います。最後の大会、笑って終わるように頑張っていきたいです。



陸上競技部加藤愛斗さん(3年) 私は高校1年の時から全国大会出場を目標に部活動に取り組んできました。そのため今回の全国大会中止は悔しいの一言では片付けられないほど複雑な気持ちでいっぱいです。私は1年生、2年生と思うように結果が残せず悔しい思いをしてきました。そのため「今年こそは」という思いで全国大会出場という目標を掲げて部活動に励んできました。そんな中で総体中止、全国大会中止と次から次へと辛いニュースが入ってきたのです。正直今の状況で前向きにこの出来事を捉えることは出来ません。それでも最後の代替大会は誰よりも楽しみ、自分が部活動で成長してきた全てを発揮できるように残された僅かな時間で準備していきたいと思います。



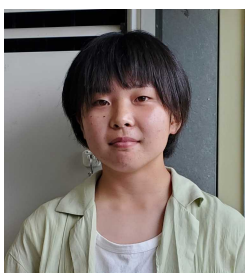
陸上競技部佐藤匠真さん(3年) 今年の高校総体が中止されると聞いたときは3年間目指していたインターハイ出場という夢を絶たれたように感じて、これから何を目標にして部活動を続けていけばいいのか分からず、未来に対して不安しかありませんでした。しかし、このまま夢を諦めていいのかと考えると、「もう一度表彰台に上がりたい」という気持ちが高ぶり、部活が自粛期間で始まっていない中、自らメニューを考え、自主トレに励みました。自粛が明け高校総体の代替大会の開催が決まりました。そこで最高のパフォーマンスを発揮し、優勝を目標とし、頑張りたいと思います。



水泳部奈良崎智美さん(3年)

インターハイ、東北総体、県総体と中止が決まってしまった時、悲しくて悔しくてやるせなくて涙が溢れました。高校に入り思うような結果が出ず辛かったけれど、今夏は良い結果が出せるのではないかと楽しみに

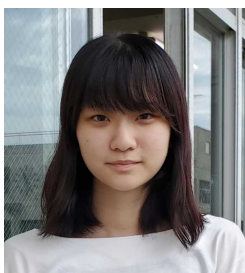
していたのです。しかし、自分がどこまで行けるのか挑戦すること自体出来なくなってしまいました。最後の舞台がなくなり、今まで応援し支えて下さった先生方などに結果で恩返しすることが出来なくなってしまい残念に思っています。今、私は気持ちを切り替え受験に向けて頑張っていますが新型コロナウイルスが収束し、またみんなと楽しく競い合える日がくることを願っています。



ソフトボール部千葉麗奈さん(3年)

私が所属していたソフトボール部は、高総体で優勝し、インターハイに出場することを目標に日々の練習に取り組んできました。しかし、コロナウイルスの影響で3月から学校での練習ができなくなり、3年生の

集大成となる高総体の中止も発表され、正直今まで何のために練習してきたのかと考えることもありました。そんな中、いくつかの競技で高総体の代替試合の開催が決定し、ソフトボールも7月中旬に代替試合を行うことが決まりました。残念ながら、その大会で優勝することは出来ませんでした。最高の仲間と最高の試合が出来たので今はとても幸せです。



フェンシング部梁嶋恵水さん(3年)

フェンシング部は高校総体が中止になったことで代替大会が予定されていました。しかし3年生全員で話し合い、受験を考慮して出場は断念し引退することになりました。私にとって、フェンシングは今までで1

番熱中できることでした。3年間という短い期間ではありましたが、フェンシングを通して得た経験や自分の中での成長はこれから生きていく上で役立つものばかりです。最終目標としていた大会が中止になった事への悔しさは消えませんが、私の高校生活の大半を占めたフェンシングは私にとってかけがえのない宝物です。



剣道部武藤隼人さん(3年)

今年の高校総体では自分が「3年生」として出る大会であり、2年間たくさんの人たちに支えられてここまで努力してきたので、大会が中止になったことは非常に残念でした。しかし、大

会がなくなったとはいえ、部活動を通して学んだことは決して無駄にはならず、必ず将来の役に立つと思います。だから、後輩たちには、こういう世の中だからこそ自分たちで考えることの大切さを知ってもらいたいです。そして、自分自身もコロナに負けず、将来の夢に向かって頑張っていきたいと思います。



剣道部堀内匠さん(3年)

私を含めて剣道部には3年生が5人います。全員が毎回レギュラーメンバーにはいれてはいた訳ではないけれど、全員が自分の剣道を持ち、自粛期間に入っても筋トレ、走り込み、素振りを毎日やっていました。だから総体

中止の発表があったとき、悔しかったし、怒りも湧いたけれど、ぶつける相手はいませんでした。理不尽を痛感しました。私たちは幸運なことに、8月9日に最後の晴れ舞台があります。総体はなくなっても、私たちの3年間はなくなっています。トーナメントでも団体戦でもない、1人1試合のみだけれども、俺らの剣道を仙台高校剣道部として全力で出して、前向きに楽しみたいです。



吹奏楽部松本康平さん(3年)

今まで吹奏楽部を応援して下さいました皆様、私たちの励みになりました。本当にありがとうございました。舞台がなくなり演奏での感謝の気持ちを伝えられないことや、現部員に先輩としてやるべきことが果たせないまま

の引退となってしまい申し訳なく思っています。しかし、今まで培ったことは決して無駄ではなく、形に残すことが全てではないと、この自粛期間中に感じる事が出来ました。私たちの想いは消えませんが、現部員には私たちの分まで頑張りたいと思います。引き続き吹奏楽の応援をよろしくお願いします。



吹奏楽部佐々木里奈さん(3年)

正直、このような形で約9年間続けてきた吹奏楽を離れるとは思っていませんでした。この9年間、何度も挫け、立ち止まり、幾度もやめたいと口にしかた分かりません。しかし、ここまで続けることが出来たのは

今までご指導していただいた先生方、友人、家族、私と関わった全ての方々のお陰だと思います。あっけなく部活を引退し、後悔した日もありましたが、部活へ注いだ活力を勉強へと切り換え、またいつか吹奏楽という自分の原点に身を置きたいです。今までありがとうございました。

